

【様式2】

学校関係者評価書

学校名 佐賀県立牛津高等学校

1 学校関係者評価実施状況

- (1) 学校関係者評価実施日 令和4年3月1日(火)
- (2) 資料(評価の参考とした資料)
学校評議員会資料(第1回～第3回) / 学校説明会参観(11月7日(日))
- (3) 評価者: 本校学校評議員3名

2 評価

(1) 学校運営について

①目標の妥当性及び達成状況

- ・目標としては目新しい面はないが妥当と思われる。達成状況については昨年よりも後退している面も見られ、努力の余地がある。
- ・「業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減」については、具体的な目標となっており、達成状況も具体的でわかりやすい。一方「教職員のスキルアップによる業務効率化」については、目標が若干曖昧であり、達成状況についても具体性が曖昧である。具体的な数値目標か、達成したい具体的な業務内容を記載した方がわかりやすい。

②学校の取組状況の適切さ及び自己評価結果の妥当性

- ・取り組みとしては通常の内容で不適切とは言えないし、評価も結果に照らし妥当と思われる。
- ・時間外勤務時間については、専門性や部活担当で異なるだろうが前年度比10%増、上限遵守の職員84.4%は非常に高く、組織的に目標達成に取り組まれたと評価できる。

③改善方策の適切さ

- ・抽象的な方策は採られているようだが、具体性が乏しい。残業については、特に残業が多い教員と、少ない教員の双方からヒアリングを行う等をして原因を探る方法もあると思われる。

(2) 教育活動について

①目標の妥当性及び達成状況

- ・3つの評価項目の目標については、具体的な数値目標が設定してあり、かつその目標が現実的に達成可能なものであり、妥当である。達成状況については、いずれの項目においても具体的かつ計画的に実施されており、大変分かりやすい。

- ・目まぐるしく変化する社会の中、ICTの利活用の向上に向け環境整備を進め、学力向上を目指されたことはアンケートからも感じ取られ、目標達成と思われる。

②学校の取組状況の適切さ及び自己評価結果の妥当性

- ・多様な学びが特徴の本校で、子ども達が目標に向かい技術習得を達成でき学ぶ意識が高いことが感じ取れ評価できる。今後も学校、生徒、家庭が一丸となり未来のスペシャリストの育成に励んでいただきたい。
- ・これについては適切な取り組みがされており、評価も適切と思われるが、いじめの対応について、中間評価がBで、最終評価がAとなったことについては、たまたまいじめの芽の段階で解決できたことを除き、理由がよく分からない。

③改善方策の適切さ

- ・子ども達を取り巻く環境(人間関係)の中でSNSは切り離せないツールとなっている。性犯罪に巻き込まれないためにも、情報モラル教育に力を入れ家庭への啓発も重ねて取り組んで欲しい。また、引き続きいじめ認知・早期対応を願います。

3 その他学校に対する意見や提言

(1) 学校評価の推進や職員の意識改革

- ・校外で元気に挨拶をしてくれる生徒がいて感動します。
どの先生方にも、家庭科専門校である本校を愛してほしい。
- ・先生方や職員の皆様の不断の努力において、学校の改善がなされていることに感謝申し上げます。ただ、そのことが時間外勤務等の負担増の要因になっているのではないかと、危惧しております。

(2) 校内の教育活動の改善・充実について

- ・コロナ禍で難しい面もあったと思うが、努力されていると思う。より専門的な知識や経験を有する外部の方や、卒業生等との連携を進められたい。
- ・今回の学校評価では見えなかった部分として、先生方のスキルアップへの取り組みがあります。教育活動の改善・充実においては、先生方の専門性の向上やスキルアップが欠かせないと考えます。

(3) 校外への情報提供について

- ・昨年より一段と増して広報活動(HP・新聞)にご尽力いただいたと感じた。
新しいパンフレットは簡潔で見やすく、何を目標として学ぶのかわかりやすかった。進路先の多様化に合わせ、学んできた学科とは違う進路や就職先を選択した卒業生のコメントを載せることで、中学生の進路決定の参考になりえるのではないだろうか。
- ・**YouTube** アカウントを取得したとのことで、努力をしているようには思われる。
マスコミへの情報提供も実践しているとのことであったが、まだ狭い範囲に限定されているように感じられ、特に受検を控えた中学生やその保護者に対する

情報提供を充実させることが必要と思われる。

(4) 保護者や地域と連携した教育活動の改善・充実について

- ・すでに十分に活動できていると思われるが、コロナウイルスの感染状況に応じて、外部の各種催しに積極的に参加されるべきと思われ、そのための情報の収集と提供を推し進められたい。
- ・小城市と連携したボランティア活動も地域活性に一役かっておられ魅力ある学校づくりがなされていると感じる。コロナ禍で活動の制限はまだまだあるが今後の活躍を引き続き期待している。
- ・評議委員会においても、何度も「地域の中の牛津高校」との説明がなされているとおり、校長先生をはじめ、教員・職員の皆様においては地域を大切にした教育活動や学校運営をなされていることがとても印象的です。このことは、とても素敵なことであり、生徒の皆さんにとっても、良い影響を与えているのではないかと考えます。